

様式 4

平成 30 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子工業高等学校  
 学校長 田 中 宏 明

評 価 日	平成 31 年 1 月 31 日 (木)	
	評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>①工業高校生らしいエチケットマナーについて                      近所で大きな声で挨拶してくれる生徒が増えた。自転車のマナーも良い。保護者の車の送迎マナーも良く、小学生が安心して登校できる。</p> <p>②ものづくり人材育成について                      課題研究発表会を聞き、高校 3 年間で成長した事がうかがえた。専門知識があり、堂々と発表をしていた。研究内容も年々新しいことに取り組んでおりよい。ただし、プレゼンテーションについては、工夫の余地がある。</p> <p>③異校種との連携について                      啓成小学校への出前授業では、高校生から小学生へ優しい言葉を掛けてもらい大変助かっている。2020年度から小学校でプログラミング教育が始まるので協力願いたい。</p> <p>(2) 説明・公表について</p> <p>①開かれた学校づくりについて                      マスメディアでよく拝見している。情報発信は、よく改善されている。</p>	<p>産業界及び地域社会を担っていく人材育成として引き続き挨拶などのエチケットマナーに重点を置いて指導する。</p> <p>自ら課題を発見し、解決できる人材育成について、さらに指導の重点を置く。プレゼンテーションについては、日頃から行っているスピーチ指導を強化する。</p> <p>小・中学校との連携を引き続き行っていく。プログラミング教育については、教職員との連携も図りたい。</p> <p>今年度は、学校祭で科展示のスペースを拡大し、内容の充実を図った。報道機関への情報提供も増やしたが、引き続き情報発信を改善する。</p>	
<p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <p>①地域への貢献事業について                      米子東高校へ贈呈したベンチを見たが、造りが頑丈で、できばえが良かった。</p> <p>②資格取得への支援事業について                      電気科生徒が電験 3 種を取得したが、大変、難しい資格である。取得の難しさについて、もっと分かってもらう必要がある。</p> <p>3. 取組改善のための提言                      各専門科を涉った連携をして欲しい。全科でなくてもいいので、課題研究で行ってはどうか。</p>	<p>引き続き、ものづくりをとおして地域に貢献する人材育成を行う。本年度は、多くの生徒が難しい資格に挑戦し、取得した。報道機関をとおしての情報発信が、より広く理解を得るようアイデアを練る。</p> <p>既に課題研究の途中で、工作において連携を行っている。最初の段階から連携できないか検討する。</p>	